資料１

研究開発型ベンチャープロジェクトチームについて

平成１４年9月２６日

１　趣旨

我が国の経済活性化には、研究開発を通じた新規事業の創出が不可欠であるが、大学・企業等での研究成果を事業化するにあたって、実用化の段階での研究開発や資金調達などが困難であるため、事業化に結びつかない「死の谷」状況が課題とされている。

そこで、科学技術システム改革専門調査会に、有識者からなる研究開発型ベンチャープロジェクトチームを設け、企業、大学等、公的研究機関での研究開発の成果の実用化、事業化を効果的に推進するための具体的な方策について、集中的に調査・検討を行う。

２　検討課題（例）

（1）　ベンチャー創出・育成に関する支援方策

研究開発支援、経営資金調達等の資金的支援、企業関係制度改革、経営・技術・法制等の専門的支援の在り方等について、調査・検討を行う。

（2）　企業等からの人材のスピン・オフ及び知的財産の移転

人材のスピン・オフや知的財産の移転の円滑化を図るため、人

材流動化（退職金、年金等）、兼業、知的財産権の流通・活用支援等の方策について、調査・検討を行う。

（3） 起業家に対する各種専門家等の支援体制の在り方

ベンチャー企業が、企業や大学と連携し、また、各種専門家等の支援を受けて、研究開発のシーズを育成し製品化・事業化に結びつける仕組み及び環境の整備について、海外の事例等を含めて、調査・検討を行う。

3 検討スケジュール

９月に第１回を開催し、外部有識者からのヒアリング等を交えながら７回程度会合を開き、年度内を目途に報告をとりまとめるべく、調査・検討を行う。

スケジュール（案）

	研究開発型ベンチャーPT
９月	（9/26 本会議で研究開発型ベンチャーPT 開催を了承）
下旬	第一回目開催（自由討議） ・現状把握（施策等の全体像の把握、ベンチャー育成の各段階や関係主体ごとの問題点について）今後の運営等
10 月	第二回目開催（プレゼンテーション、討議）
11 月	第三回目開催（プレゼンテーション、討議）
12 月	第四回目開催（プレゼンテーション、討議）
１月	第五回目開催（プレゼンテーション、討議）
２月	第六回目開催（報告書案審議）
３月	第七回目開催（報告書とりまとめ）